

第八章 資料 [調査票]

1. 県民意識調査

男女共同参画等に関する県民意識調査

日ごろ、県政の推進についてご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

山形県では、「山形県男女共同参画計画」を策定し、誰もがいきいきと働き、幸せに暮らし続けられる山形県の実現に向けて、性別にかかわらず、一人ひとりが個人として尊重されるよう、暮らし・仕事・地域において男女共同参画の取組みを進めております。

このたび、地域や企業などにおける男女共同参画を推進するための基礎資料として活用することを目的に、県民の皆様を対象として、「県民意識調査」を実施することといたしました。

この調査の実施にあたっては、18歳以上の県民の皆様から、無作為に抽出させていただいた方を対象に、本調査票を送付させていただきました。

今回の調査で得られた結果は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用しませんので、皆様にご迷惑がかかることは一切ございません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和6年8月

山形県知事 吉村 美栄子

◇調査票のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒でご返送ください。

回答期限 **8月31日(土)まで** にご投函ください。

◇インターネットからも、ご回答いただけます。

右の二次元コード（又は下記 URL）よりお進みください。

その際、左上に記載のIDとインターネット回答用パスワードをご入力ください。

<https://kktsr.com/yamagata-kenmin>

※インターネットで回答する場合も、8月31日(土)までにご回答ください。

※インターネットで回答する場合、この調査票は返送の必要はございません。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



●調査結果の公表について

公表時期は令和7年3月を予定しております。

●調査に関するお問い合わせ

山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課

担当：多様性・女性活躍担当

電話：023-630-3269（直通）

FAX：023-632-8238



ご記入にあたってのお願い

- ◆封筒の宛名の方ご本人が回答してください。
(本人による回答が困難な方は、ご家族などのご協力により回答してください。)
- ◆黒の鉛筆またはボールペンで、はっきりとご記入ください。
- ◆設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、説明にしたがって回答してください。
- ◆プライバシー保護のため、この調査票および返信用封筒には、お名前を記入する必要はありません。

**お答えいただいたことを統計的に分析するため、
最初にあなたご自身のことについてお伺いします。
(令和6年8月1日現在でご記入ください)**

F 1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

※「3. その他」とは、セクシュアル・マイノリティを考慮した選択肢です。性別については、戸籍上の区分とは別に、ご自身の主観によりご記入ください。

F 2 あなたの満年齢をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18歳、19歳 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 |
| 4. 40歳～49歳 | 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～64歳 |
| 7. 65歳～69歳 | 8. 70歳以上 | |

F 3 あなたがお住まいの市町村名をお答えください。(該当する市町村名に〇をつけてください)

村山地域	山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市 山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上地域	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜地域	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内地域	鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町

F 4 ①あなたのお仕事は何ですか。(〇は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 自営業 |
| 2. 会社経営者、役員 |
| 3. 正規雇用者 |
| 4. 非正規雇用者(パート・アルバイト・派遣等) |
| 5. 公務員 |
| 6. 専業主婦・主夫 |
| 7. 無職 |
| 8. 学生 |
| 9. その他() |

→ (①で1～4を選んだ方へ)

②職業の分野は何ですか。(〇は1つ)

- | |
|----------------|
| 1. 農林水産業 |
| 2. 建設業 |
| 3. 製造業 |
| 4. 医療、福祉 |
| 5. 卸売業、小売業 |
| 6. 宿泊業、飲食サービス業 |

F 5 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

1. 未婚	2. 既婚(配偶者あり)	3. 既婚(離別、死別)
-------	--------------	--------------



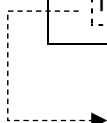
F 5で「2. 既婚(配偶者あり)」を選んだ方にお伺いします。

F 5-1 共働き(内職を含む)ですか。(○は1つ)

1. 共働きである	2. そうでない
-----------	----------

F 6 あなたには、乳幼児または就学中のお子さんがいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------



F 6で「1. いる」を選んだ方にお伺いします。

F 6-1 お子さんは次のどの就学段階にありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 小学校入学前	2. 小学生	3. 中学生	4. 高校生
5. 短大生	6. 大学生	7. 大学院生	8. 専門学校生
9. その他()			

F 7 同居しているご家族の世代構成はどのようになっていますか。(○は1つ)

1. 1世代(夫婦のみ)	2. 2世代(親と子)	3. 3世代(親と子と孫)
4. 一人暮らし	5. その他()	

F 8 あなたの山形県での居住の状況についてあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと山形県に住んでいる(進学などで一時的に県外へ転居した場合を含む)
2. 県外への就職などを経て、Uターンした
3. 県外から移住した
4. その他(単身赴任や就学に伴い一時的に山形県に居住しているなど)

男女共同参画についてお伺いします

問1 あなたは、「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方についてどう思いますか。
あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は1つ)

1	賛成である
2	どちらかといえば賛成である
3	どちらかといえば反対である
4	反対である
5	わからない

既婚者（事実婚を含む）のみにお伺いします。

問2 夫婦の役割分担について、(1) 現状、(2) 理想を選んでください。(それぞれ〇は1つ)

	(1) 現状	(2) 理想
	↓〇は1つ	↓〇は1つ
ア 夫が働き、妻が家事・育児・介護などを担う	1	1
イ 妻が働き、夫が家事・育児・介護などを担う	2	2
ウ 夫婦が共に働き、主に妻が家事・育児・介護などを担う	3	3
エ 夫婦が共に働き、主に夫が家事・育児・介護などを担う	4	4
オ 夫婦が共に働き、共同で家事・育児・介護などを分担する	5	5
カ わからない・その他	6	6

すべての方にお伺いします。

問3 あなたは、次のア～ケそれぞれの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

ア～ケの項目ごとに、あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ〇は1つ)

	男性が優遇 されている	どちらかといえ ば男性が優遇さ れている	平等である	どちらかといえ ば女性が優遇さ れている	女性が優遇 されている	わからない
(例) ▲▲▲	1	2	3	4	5	6
ア 家庭生活	1	2	3	4	5	6
イ 職場	1	2	3	4	5	6
ウ 町内会などの自治会	1	2	3	4	5	6
エ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
オ PTA、保護者会	1	2	3	4	5	6
カ 政治	1	2	3	4	5	6
キ 県や市町村などの行政	1	2	3	4	5	6
ク 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
ケ 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6

問4 あなたは、他の人から性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験はありますか。

ア～セの項目ごとに、あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

	直接言われたり聞いたりしたことがある	直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある	テレビや雑誌、インターネットなどのメディアで見たことがある
(例) ▲▲▲	1	②	③
ア 家事・育児は女性がすべきだ	1	2	3
イ 家を継ぐのは男性であるべきだ	1	2	3
ウ 男性は結婚して家庭をもって一人前だ	1	2	3
エ 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	1	2	3
オ 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ	1	2	3
カ 親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	1	2	3
キ 実の親、義理の親にかかわらず、親の介護は女性がすべきだ	1	2	3
ク デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	1	2	3
ケ 受付、接客・応対(お茶だしなど)は女性の仕事だ	1	2	3
コ 職場での上司・同僚へのお茶くみは女性がする方が良い	1	2	3
サ 女性は感情的になりやすい	1	2	3
シ 男性は人前で泣くべきではない	1	2	3
ス 女性には女性らしい感性があるものだ	1	2	3
セ 女性はいか弱い存在なので、守られなければならない	1	2	3

女性の活躍についてお伺いします

問5 あなたは、次の分野において、女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。

次のア～カの項目ごとに1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。

	十分反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	ほとんど反映されていない	どちらともいえない
(例)▲▲▲	1	2	3	4	5
ア 町内会などの自治会	1	2	3	4	5
イ 職場	1	2	3	4	5
ウ PTA、保護者会	1	2	3	4	5
エ 政治	1	2	3	4	5
オ 県や市町村の施策	1	2	3	4	5
カ 防災・災害対応	1	2	3	4	5



問5で「3 あまり反映されていない」または「4 ほとんど反映されていない」と答えた項目があった方にお伺いします。

問5-1 反映されていない理由は何だと思いますか。(○は3つまで)

1	自治会長や組合団体、地域組織リーダーに女性が少ない
2	企業などの管理職に女性が少ない
3	女性議員が少ない
4	行政機関の管理職に女性が少ない
5	県や市町村の審議会、委員会などに女性が少ない
6	防災(自主防災組織、防災訓練など)・災害対応(避難所運営など)において女性が少ない
7	女性自身の意欲や責任感が乏しい
8	男性の意識、理解が足りない
9	社会の仕組みが女性に不利である
10	女性の能力に対する偏見がある
11	その他(具体的に)

すべての方にお伺いします。

問6 あなたは、次のア～オの役職について要請があった場合、引き受けますか。

(それぞれ○は1つ)

	引き受ける	断る	家族に相談して決める	わからない
(例) ▲▲▲	1	2	3	4
ア 町内会などの自治会の代表になる	1	2	3	4
イ 職場の管理職や役員になる	1	2	3	4
ウ PTA、保護者会の役員になる	1	2	3	4
エ 議員や自治体の首長になる	1	2	3	4
オ 県や市町村の審議会などの委員になる	1	2	3	4
カ 防災分野におけるリーダーになる(自主防災組織など)	1	2	3	4



問6で「2 断る」と答えた項目があった方にお伺いします。

問6-1 その理由は、どのようなことですか。あなたの考えに近いものをお答えください。

(○はあてはまるものすべて)

1	仕事が忙しくて、地域活動の時間が取れないから
2	家事や育児、介護が忙しくて、地域活動の時間が取れないから
3	家事や育児、介護が忙しくて、役職を引き受ける余裕がないから
4	地域での人付き合いがわずらわしいから
5	責任ある役は引き受けたくないから
6	責任を果たせるだけの自信がないから
7	なんとなく大変そうだから
8	自分や家族の負担が増えるから
9	周囲の目もあり、目立つのが嫌だから
10	その役職に魅力を感じないから
11	その他(具体的に)

すべての方にお伺いします。

問7 女性の社会参画の促進や社会的地位向上を図るために、県や市町村は、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は5つまで)

1	家庭・仕事・地域における固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)解消のための理解促進
2	多様な職業への女性の就労の促進
3	女性向けの就労支援セミナーや職業訓練の充実
4	政策・方針決定への女性の参画拡大
5	女性の政治参画の推進(意識啓発、人材育成など)
6	企業や地域社会における女性リーダーの育成
7	経営者・企業トップへの働きかけ
8	家事・育児への参画など男性自身の意識改革の促進
9	リーダーや管理職へのチャレンジなど女性自身の意識改革の促進
10	学校教育や社会教育・生涯学習の場での男女共同参画についての学習の充実
11	相談窓口の設置
12	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスの充実
13	その他(具体的に)
14	わからない

問8 あなたは、女性が仕事に就くことについてどう考えますか。(〇は1つ)

1	働かない方が良い
2	結婚するまでは働いた方が良い
3	子どもができるまでは働いた方が良い
4	育児・介護などにかかわらず、働き続ける方が良い
5	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方が良い
6	その他(具体的に)
7	わからない

問9 女性が仕事に就くうえで、または働き続けていくうえで、今後どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1	経営者・企業トップの意識改革
2	柔軟な働き方の整備(短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど)
3	残業や長時間労働がないこと
4	就労支援(未就労者への支援、再就職支援、就労情報提供、職業訓練など)
5	育児休業・介護休業制度の充実
6	女性自身の意識・能力の向上
7	男性の家事・育児・介護への参画、家族の理解と協力
8	出産・育児・介護に関しての職場の理解
9	保育施設・サービスの充実(保育所、放課後児童クラブなど)
10	介護施設・サービスの充実(老人保健施設、ホームヘルパーなど)
11	その他(具体的に)
12	わからない

問10 若年女性が県内に定着し、活躍するために、どのような取組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1	県内企業の賃金向上や処遇改善
2	魅力ある企業の誘致などによる雇用の場の拡大
3	県内企業情報の発信
4	起業しようとする女性に対する行政などの支援
5	子育てしやすい環境の整備
6	周囲の大人の意識改革(根強く残るしきたりや慣習の解消)
7	その他(具体的に)
8	わからない

問 11 現在は、結婚すると、夫婦が同じ名字（姓）を名乗ることが義務付けられています。希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度（選択的夫婦別姓制度）を設けることについて議論がありますが、どのように思いますか。（○は1つ）

1	現在の法制度（夫婦が同じ名字（姓）を名乗る制度）を維持したほうがよい
2	希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい
3	その他（具体的に)
4	わからない

問 11 で「2. 希望する夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度を導入したほうがよい」を選んだ方にお伺いします。

問 11-1 夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できる法制度に変わった場合を想定してお答えください。夫婦で別々の名字・姓を名乗ることを希望しますか。あなたが、結婚している、いないにかかわらず、お答えください。（○は1つ）

1	夫婦で別々の姓を希望する（自分の姓は変えたくない）
2	夫婦で同じ姓を希望する（配偶者には自分の姓を名乗ってほしい）
3	夫婦で同じ姓を希望する（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい）
4	夫婦で同じ姓を希望する（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが、仕事上では旧姓を名乗りたい）
5	わからない

すべての方にお伺いします。

問 12 結婚によって名字（姓）を変えた場合、社会生活でどのような不便、不都合が生じると思いますか。（○は3つまで）

1	金融機関、運転免許証、パスポート、不動産登記などの氏名変更手続きに手間やお金がかかる
2	仕事上の関係者や顧客などに対して名字（姓）の変更について説明が必要となる
3	改姓により、同一人物と認識されず、婚姻前の研究実績（論文、特許など）、仕事の業績などが一貫して自身のものと認識されにくい
4	実家の名字（姓）を継ぐ人がいない場合、名字（姓）が途切れてしまう
5	婚姻、離婚などのプライバシーが公になるため心理的な負担となる
6	アイデンティティ（自己同一性）を失う
7	創業者・経営者としての信用、評価に影響が及ぶ
8	旧姓使用の場合、仕事上で旧姓を使用しているも、公的な手続きは戸籍上の名字（姓）で行うため二重管理が必要となる（ビザや航空券、クレジットカード、パスポートなど）
9	その他（具体的に)
10	特にない
11	わからない

問 13 夫婦別姓が選べないために、事実婚*を選ぶ人や、結婚すること自体をやめる人がいると思いますか。(〇はひとつ)

※法律上の届出はしていないが、事実上夫婦としての実態を有する関係

1	いると思う
2	いないと思う
3	わからない

問 13-1 問 13 に記載する「夫婦別姓が選べないために、事実婚を選ぶ・結婚すること自体をやめる」ということについて、あなたの考えを記入してください。

ワーク・ライフ・バランスについてお伺いします

問 14 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動」、「余暇(趣味や娯楽など)」の優先度について、希望に最も近いものはどれですか。また、現実にはどうですか。(1) 現状、(2) 理想を選んでください。(それぞれ〇は1つ)

	(1) 現状	(2) 理想
	↓〇は1つ	↓〇は1つ
ア 「仕事」を優先	1	1
イ 「家庭生活」を優先	2	2
ウ 「地域活動」を優先	3	3
エ 「余暇(趣味や娯楽など)」を優先	4	4
オ 「仕事」と「家庭生活」をともに優先	5	5
カ 「仕事」と「地域活動」をともに優先	6	6
キ 「仕事」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	7	7
ク 「家庭生活」と「地域活動」をともに優先	8	8
ケ 「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	9	9
コ 「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	10	10
サ 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」をともに優先	11	11
シ 「仕事」と「家庭生活」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	12	12
ス 「仕事」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	13	13
セ 「家庭生活」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	14	14
ソ 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動」と「余暇(趣味や娯楽など)」をともに優先	15	15

働いている方にお伺いします。

問 15 あなたは「仕事がある日」および「休日」1日あたり、次の事柄にどのくらい時間をかけていますか。次のア～ケのそれぞれの質問について、10分単位（10分未満は切り捨て）でお答えください。

※週1日または月1回などの場合、1日あたりに換算してお考えください。

	仕事がある日	休日
事柄	時間(10分単位)	時間(10分単位)
(例)▲▲▲	0 時間 30分	1 時間 10分
ア 仕事(通勤時間を含む)	時間 分	時間 分
イ 家事(屋内での炊事洗濯の他、庭の草取り・除雪・車の手入れなども含む)	時間 分	時間 分
ウ 育児	時間 分	時間 分
エ 介護・看護	時間 分	時間 分
オ 買い物	時間 分	時間 分
カ 余暇(趣味や娯楽など、自分の好きなことをして過ごす時間)	時間 分	時間 分
キ 地域活動(子どもの見守りや防犯・防災活動、美化活動など)	時間 分	時間 分
ク ボランティアやNPO活動	時間 分	時間 分
ケ その他 (具体的に)	時間 分	時間 分

すべての方にお伺いします。

問 16 あなたは、ワーク・ライフ・バランスがとれるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1	柔軟な働き方の整備(短時間勤務制度、フレックスタイム、テレワークなど)
2	残業や長時間労働がないこと
3	職場での育児休暇(休業)や介護休暇(休業)、看護休暇が取得しやすい雰囲気づくり
4	一人ひとりが自分のやりたいことをしっかりと思い描き、自らが仕事と生活の調和がとれたライフスタイルを着実に実践すること
5	家事・育児・介護などの家庭生活への男性の積極的な参画の促進
6	子どもの頃から男女ともに家庭生活・仕事・地域活動に主体的にかかわる意識の醸成
7	多様な保育サービスの提供
8	多様な介護サービスの提供
9	健康づくりや、スポーツ・文化などを身近な地域で楽しめる仕組みづくり
10	その他(具体的に)
11	わからない

就業環境についてお伺いします

現在、会社などにお勤めしている方にお伺いします。

-----▶ (該当しない方は、問18へお進み下さい。)

問17 あなたの勤めている会社などで、ア～カの各制度を利用したいと思いますか。(※該当しない方も、その立場にあった場合を想定してお答えください。)(それぞれ○は1つ)

	制度の利用について
(例) ▲▲▲	<input checked="" type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない
ア 育児休業	<input type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない
イ 介護休業	<input type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない
ウ 子ども看護休暇	<input type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない
エ 介護休暇	<input type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない
オ 育児・介護のための短時間勤務	<input type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない
カ テレワーク・在宅勤務	<input type="radio"/> 1.利用したい(した) <input type="radio"/> 2.利用したい(したかった)が、利用できない(できなかった) <input type="radio"/> 3.利用したくない

問17で「2. 利用したい（したかった）が、利用できない（できなかった）」を選んだ方にお伺いします。

問17-1 その理由は何ですか。

ア 育児休業
イ 介護休業
ウ 子ども看護休暇
エ 介護休暇
オ 育児・介護のための短時間勤務
カ テレワーク・在宅勤務

平成30年以降に仕事を辞めたことのある方にお伺いします。

問18 仕事を辞めたのは、どのような理由ですか。（○は2つまで）

1	定年に達したため
2	仕事が向いていなかったため
3	賃金、休日など労働条件が悪かったため
4	結婚するため
5	子（孫）育てのため
6	介護のため
7	健康上の理由から
8	会社の倒産、人員整理などのため
9	職場でのいじめ・ハラスメント（セクシュアルハラスメントなど）のため
10	その他（具体的に _____ ）

家庭生活についてお伺いします

問 19 子育てに関する次のア～クのそれぞれの質問について、あなたの考えに近いものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
例) ▲▲▲	①	2	3	4	5
ア 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
イ 子どもの世話の大部分は、父親にもできる	1	2	3	4	5
ウ 男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい	1	2	3	4	5
エ 子どもは、性別にこだわらず個性を伸ばすほうがよい	1	2	3	4	5
オ 男の子は家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
カ 女の子は家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
キ 男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
ク 女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5

問 20 あなたの家庭では、次のア～ケのことについて、主に男性、女性のどちらが行っていますか。(それぞれ○は1つ)

	主として男性	共同して分担	主として女性	わからない	該当しない
例) ▲▲▲	①	2	3	4	5
ア 家事	1	2	3	4	5
イ 子育て	1	2	3	4	5
ウ 介護 ※別居の家族も含む	1	2	3	4	5
エ 地域の行事への参加	1	2	3	4	5
オ 町内会などの自治会活動	1	2	3	4	5
カ PTA、保護者会活動	1	2	3	4	5
キ 生活費の確保	1	2	3	4	5
ク 家計の管理	1	2	3	4	5
ケ 家庭内の重要事項の決定(高額な商品や土地、家屋の購入など)	1	2	3	4	5

問 21 あなたは現在、子育てと介護を同時に行っていますか。(○は1つ)

1	現在行っている
2	現在行っていないが、過去に経験がある
3	現在行っていないが、数年先に行う可能性がある
4	過去に経験がないし、数年先に行う可能性もない

困難な問題を抱える女性への支援についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問 22 あなたは、次の項目について、悩みや困難を抱えていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	健康に係る問題(病気・ケガによる不調、精神的な問題、体力低下などによる不安など)
2	家庭に係る問題(自分や家族間の不仲、家族の問題行動など)
3	生活困窮や就労に係る問題(失業や転職による収入減、家庭環境の変化による家計のひっ迫など)
4	職場や学校、地域での人間関係などに係る問題(人間関係をうまく築けない、いじめ・ハラスメントを受けているなど)
5	配偶者・パートナー・恋人からの暴力(身体的暴力、精神的暴力、経済的暴力など)
6	選択肢 5 以外の家族・親戚などからの暴力(身体的暴力、精神的暴力、経済的暴力など)
7	性的な被害や問題(性的な嫌がらせ、性暴力や性的虐待、ストーカー被害など)
8	住まいや居場所に係る問題(安心できる居場所がない、DV などのため一時的に自宅を出て避難する必要があったなど)
9	その他(具体的に)
10	悩み、問題、困難を抱えていない

問 22 で「10」以外を選んだ方にお伺いします。

問 23 あなたは、抱える悩みや困難へどのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)

1	公的な窓口相談している、支援を受けている
2	民間の窓口相談している、支援を受けている
3	家族や周囲の人などに相談している、協力してもらっている
4	主に自分一人で何とかしようとしている
5	ほぼ何もしていない

問 22 で「10」以外を選んだ方にお伺いします。

問 24 あなたは、自身が抱える困難を解決するために、どのような環境や支援があると良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	利用できる支援制度の情報提供
2	自分の困りごとをなんでも相談でき、支援につながるができる窓口
3	気軽に話を聞いてもらえるSNSなどの相談窓口
4	生活のための経済的援助
5	カウンセリングなどの心理学的支援
6	同じような悩みを持つ人と出会える場所
7	自分の困りごとに気付いて声をかけてくれる人や支援機関
8	弁護士などによる法的支援
9	就労の支援(資格取得などの働くための支援や就職先を探すサポート)
10	相談・支援を受けている間の寄り添いや見守り
11	その他(具体的に)
12	わからない

すべての方にお伺いします。

問 25 あなたは、女性相談窓口(女性相談支援センター、配偶者暴力相談支援センター、県総合支庁相談窓口、市町村の相談窓口など)を知っていますか。(○は1つ)

1	知っている
2	知らない

女性のみにお伺いします。

問 26 問 25 で「1」を選んだ方にお伺いします。女性相談窓口を利用したことがありますか。

(○は1つ)

1	現在利用している
2	過去に利用したことがある
3	利用したことがない

配偶者・パートナーからの暴力についてお伺いします

結婚の有無にかかわらず、すべての方にお伺いします。

問 27 あなたは、次のア～カのようなことが夫婦(事実婚や別居中を含む)の間で行われた場合、それをどのように感じますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

(それぞれ○は1つ)

	暴力だと思 う	暴力にあたる場合もそ うでない場合もあると思 う	暴力だとは思わない
(例) ▲▲▲	1	②	3
ア 殴る、蹴る、物を投げつける	1	2	3
イ 大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す	1	2	3
ウ 生活費を渡さない、金銭的な自由をあたえない	1	2	3
エ 性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる	1	2	3
オ 交友関係・電話・メールなどを細かくチェックする	1	2	3
カ 子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅す	1	2	3

配偶者・パートナーがいる方にお伺いします。

(※ここでのパートナーには、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者を含みます)

問 28 あなたはこれまでに、次のようなことを「配偶者・パートナーからされた」または「配偶者・パートナーにした」経験がありますか。(○は当てはまるものすべて)

	何回もされた	1、2回された	何回もしたこと がある	1、2回したこと がある	(したことも、されたことも)まったく ない
(例) ▲▲▲	1	2	3	4	5
ア 殴る、蹴る、物を投げつける、突き飛ばすなどの身体的暴力	1	2	3	4	5
イ 人格を否定するような暴言、脅迫やおどし、何を言っても無視するなどの精神的暴力	1	2	3	4	5
ウ 生活費を渡さない、借金を強いるなどの経済的暴力	1	2	3	4	5
エ 性的な行為を無理強いする、無理やりポルノなどを見せる、避妊に協力しないなどの性的暴力	1	2	3	4	5
オ 友人・親・兄弟姉妹に会わせない、外出させない、交友関係・電話・メールなどを細かくチェックするなどの社会的暴力	1	2	3	4	5
カ 子どもに悪口を吹き込む、子どもを取り上げると脅すなど、子どもを巻き込んだ暴力	1	2	3	4	5
キ その他 (具体的に)	1	2	3	4	5



問 28 で「何回もされた」「1、2回された」を1つでも選んだ方にお伺いします。

問 28-1 問 28 であげたような配偶者やパートナーからの行為は、直近ではいつ頃ありましたか。(○は1つ)

1	この1年以内にあった
2	この2~5年以内にあった
3	5年以内にはなかった

あなたの10歳代～20歳代の経験について、すべての方にお伺いします。

問29 あなたのこれまでの経験の中で、恋人などの親密な関係にある人から、次のような態度や行動をあなたがされたり、したことがありますか。また、次のような態度や行動を、あなたの友達などがされたり、しているのを、見聞きしたことがありますか。

(○はあてはまるものすべて)

	されたことがある	したことがある	見聞きしたことがある	友達などがされているのを見聞きしたことがある	友達などがしているのを見聞きしたことがある	どれもあてはまらない
例) ▲▲▲	1	2	3	4	5	5
ア 殴る、蹴る、物を投げつける	1	2	3	4	5	5
イ 大声でどなる、傷つく言葉を言う、殴るふりをして脅す	1	2	3	4	5	5
ウ 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4	5	5
エ 携帯電話などのチェック、友達づきあいの制限	1	2	3	4	5	5
オ 二人のことも勝手に一人で決める	1	2	3	4	5	5
カ 性的な行為を無理強いする	1	2	3	4	5	5
キ デートの費用など、お金をせびる	1	2	3	4	5	5
ク その他 (具体的に)	1	2	3	4	5	5



問29で「されたことがある」を選んだ方にお伺いします。

問29-1 問29のような行為をされたあと、あなたはどうしましたか。(○は1つ)

1	相手とすぐに別れた
2	別れたかったが、すぐには別れられなかった
3	別れたいとは思わなかった

問 28 で「何回もされた」、「1、2回された」、または問 29 で「されたことがある」を1つでも選んだ方にお伺いします。

問 30 あなたはこれまでに、問 28 や問 29 であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はあてはまるものすべて)

1	友人、知人
2	家族、親戚
3	教諭その他学校関係者
4	医師その他医療関係者
5	女性の人権ホットライン(法務省)、よりそいホットライン(厚生労働省)、DV 相談+(内閣府)、ベにサポやまがた(県性暴力被害者相談電話)、チェリア相談室(県男女共同参画センター)などの相談機関
6	民間の機関(民間シェルター、NPO、弁護士など)
7	配偶者暴力相談支援センター(DV 相談支援センター)
8	市役所、町役場
9	警察、各警察署
10	法務局、人権擁護委員、民生児童委員
11	どこ(だれ)にも相談しなかった
12	その他(具体的に)

問 30 で「11. どこ(だれ)にも相談しなかった」を選んだ方にお伺いします。

問 30-1 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(○はあてはまるものすべて)

1	どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
2	恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3	相談しても無駄だと思ったから
4	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
5	世間体が悪いから
6	他人を巻き込みたくなかったから
7	他人に知られると、これまでどおりの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから
8	そのことについて思い出したくなかったから
9	自分にも悪いところがあると思ったから
10	相談するほどのことではないと思ったから
11	その他(具体的に)

すべての方にお伺いします。

問 31 DV (配偶者などからの暴力)、デートDV (交際相手からの暴力)、セクシュアルハラスメント、ストーカー、性暴力などの行為が社会問題になっていますが、このような行為を予防し、なくすためには、どうすればよいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

1	家庭における男女平等や性についての教育の充実
2	学校における男女平等や性についての教育の充実
3	家庭において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実
4	学校において思いやりの気持ちや、生命の大切さの教育の充実
5	DV、セクシュアルハラスメント、ストーカーなどに関する啓発
6	被害者のための窓口や相談所の充実
7	保護施設(民間シェルターを含む)の充実
8	加害者に対するカウンセリングや更生プログラムなどの実施
9	警察に被害届を出しやすい環境づくり
10	捜査や裁判などの過程での被害者の心情などへの配慮
11	法律、制度の制定や見直し
12	犯罪の取り締まりの強化
13	過激な内容の雑誌・ビデオ・ゲームソフトなどの販売や貸し出しの制限
14	テレビ・新聞・インターネットなどのメディアによる性・暴力表現についての倫理規定の強化
15	その他(具体的に)
16	わからない

LGBTQ など多様な性のあり方についてお伺いします

問 32 あなたは、多様な性のあり方に関する以下の言葉を聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

	言葉を聞いたことがあるし、 意味も知っている	言葉を聞いたことはあるが、 意味は知らない	言葉を聞いたことがないし、 意味も知らない
例) ▲▲▲	①	2	3
ア 性的マイノリティ	1	2	3
イ LGBTQ	1	2	3
ウ SOGI	1	2	3
エ カミングアウト	1	2	3
オ アウティング	1	2	3

ア 性的マイノリティ

同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーやその他の多様な性自認(※1)や性的指向(※2)を持つ人

※1 性自認…自己の性についての認識

※2 性的指向…自己の恋愛または性愛の対象となる性についての指向

イ LGBTQ

L(レズビアン:女性の同性愛者)、G(ゲイ:男性の同性愛者)、B(バイセクシュアル:両性愛者)、

T(トランスジェンダー:出生時に割り当てられた性別と性自認/性同一性が異なる人)、

Q(クエスチョニング:自身の性のあり方について特定の枠に属さない人、わからないなどの人)

Q(クィア:規範的とされる性のあり方以外を包括的に表す言葉)

の頭文字を合わせた言葉

ウ SOGI

性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)の頭文字を合わせた言葉

エ カミングアウト

これまで公にしていなかった自分の性のあり方(性的指向や性自認/性同一性など)を本人が他者に表明すること

オ アウティング

本人の同意なく、その人の性のあり方(性的指向や性自認/性同一性など)を第三者に暴露すること

アウティングはプライバシーの侵害であり、本人の尊厳を傷つける行為ですので、同意なく第三者に伝えてはいけません

問 33 あなたは、自分の性別やセクシュアリティに悩む(悩んだ)ことはありますか。(○は1つ)

1	ある
2	ない

問 34 あなたは、自身が性的マイノリティ(同性愛者・両性愛者・トランスジェンダーなど)の当事者である、またはそうかもしれないと思う(思った)ことはありますか。(○は1つ)

1	ある
2	ない

問 35 あなたの身近な人の中に、性的マイノリティ（同性愛者・両性愛者・トランスジェンダーなど）の方はいますか。そうした方との間柄を選んでください。（あてはまるものすべてに○）

1	家族
2	友人
3	職場の同僚・同じ学校の人
4	上記以外の身近な人（親戚、隣近所の人など）
5	身近にいない／あてはまるものはない

問 36 あなたは、身近な方から性的マイノリティであることを打ち明けられたとき、それを受け入れられますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	ら 受 け 入 れ ら れ る	ら 受 け 入 れ ら れ な い	わ か ら な い
例) ▲▲▲	①	2	3
ア 家族	1	2	3
イ 友人	1	2	3
ウ 職場の同僚・同じ学校の人	1	2	3
エ 上記以外の身近な人（親戚、隣近所の人など）	1	2	3

問 37 性的マイノリティの方々が困難を感じるとしたら、どんな場面だと思いますか。（○は5つまで）

1	身の回りで性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること
2	家族や友人など周囲に理解してもらえないこと
3	入学試験や就職の際の面接などで性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと
4	性的マイノリティに関する悩みを共有できる場や機会がないこと
5	アウトティング（本人の同意なく、その人の性のあり方を第三者に暴露すること）をされること
6	同性カップルに対して、各種制度・サービスにおいて法律婚のカップルと同様の取扱いがなされないこと
7	医療・福祉面で同性パートナーの有無や性自認・性的指向にそった対応が想定されていないこと
8	行政窓口で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと
9	学校で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと
10	職場で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと
11	更衣室やトイレなど男女の区別のある施設が利用しづらいこと
12	将来のライフプランが描けないこと
13	その他（具体的に)
14	わからない

問 38 性的マイノリティが働きやすい職場づくりのために、企業が取り組むべきことは次のうちどれですか。(○は3つまで)

1	性的指向・性自認の尊重や、性的指向・性自認に基づくハラスメントの禁止などについて社内規定や行動指針などに記載
2	性の多様性に関する社内研修や勉強会の開催
3	職場環境の整備(性別を問わないトイレの設置や制服の廃止など)
4	福利厚生制度や休暇制度において、性的マイノリティのカップルを法律婚の夫婦と同様に取り扱うなどの整備
5	採用活動における配慮(応募書類における性別記載欄の削除など)
6	性的指向・性自認に関する相談窓口の設置
7	性的マイノリティに配慮した商品・サービスの開発・提供 (法律婚の夫婦や家族を対象としたサービスについて、性的マイノリティのカップルを家族や法律婚の夫婦同様に取り扱うことを含む)
8	その他(具体的に)
9	わからない

問 39 山形県が最近実施・開始した、性的マイノリティに関する次の取組みで、知っているものはありますか。(○はあてはまるものすべて)

1	山形県パートナーシップ宣誓制度
2	多様性が尊重される社会づくり推進セミナー

問 40 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、当事者の方々が生活しやすくなるためにはどのような取組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1	県民全体に対する啓発
2	相談窓口の設置
3	気持ちや情報を共有できる場の整備
4	同性婚や各種法制度などの社会制度の整備
5	差別やいじめを禁止する法律や条例の制定
6	社会環境(トイレ・更衣室など)の整備
7	教職員の理解促進・教育現場における環境整備
8	企業に対する啓発・職場における環境整備
9	行政サービスの見直し(性別記載欄の廃止、同性パートナーへの制度適用など)
10	その他(具体的に)
11	わからない

地域活動など、社会参加についてお伺いします

問 41 あなたは現在、団体・グループなどで何か仕事以外の活動をしていますか。また、今後どのような活動をしてみたいですか。(1) 現状、(2) 理想を選んでください((1)の〇はあてはまるものすべて、(2)の〇は2つまで)

	(1)現状	(2)理想
	↓〇はあてはまるものすべて	↓〇は2つまで
ア 自治会	1	1
イ 子どもに関する活動(PTA、子ども会、子ども食堂)	2	2
ウ リサイクル・環境問題に関する活動	3	3
エ 福祉に関する活動	4	4
オ 防災に関する活動(消防団・地域の防災活動など)	5	5
カ 地域の安全を守る活動	6	6
キ 国際交流に関する活動	7	7
ク 自分の趣味を中心とした文化、スポーツ活動	8	8
ケ 政治活動、労働組合活動その他団体活動	9	9
コ 女性の社会参画に関する活動	10	10
サ その他の活動 (1)現状(具体的に) (2)理想(具体的に)	11	11
シ 特にない	12	12



問 41 の (1) で「特にない」を選んだ方にお伺いします。

問 41-1 活動していない理由は何ですか。(〇は2つまで)

1	仕事が忙しくて時間がない
2	育児・介護などで時間がない
3	家事で時間がない
4	健康に自信がない
5	参加のきっかけがつかめない
6	近くに活動の場がない
7	人間関係がわずらわしい
8	関心がない
9	その他(具体的に)

防災・復興についてお伺いします

問 42 次のうち、性別に配慮した防災・災害対応を進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1	防災計画・復興計画策定過程、防災会議への女性の参画
2	平常時からの防災訓練や自主防災組織への女性の参画
3	平常時からの自治会などの幅広い地域活動への女性の参画
4	物資の備蓄の充実(女性用品、下着、髭剃りなど)
5	避難所運営の責任者への女性の配置、被災者対応への女性の視点の導入
6	避難所の設備(男女別トイレ・更衣室、防犯対策など)
7	性別に配慮したニーズの把握
8	災害時の救援医療体制整備(診療・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置)
9	避難所への女性のための相談窓口の設置
10	その他(具体的に)

政策・方針決定過程への女性の参画について

問 43 あなたは、地方議会（県議会・市町村議会）における女性議員の割合は何割程度が理想と考えますか。（○は1つ）

1	0割
2	1割
3	2割
4	3割
5	4割
6	5割
7	6割以上

【参考】山形県における女性議員の割合

県議会 … 14.0 %

（山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課調べ、令和5年4月9日現在）

市町村議会 … 11.4 %

（内閣府地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況、令和4年12月31日現在）

問 44 政策・方針決定過程への女性の参画（例：県・市町村議会議員、審議会委員、町内会役員、農業委員、防災など各分野での女性の参画）を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

1	女性の意識改革
2	男性の意識改革
3	こども・若者への教育
4	家族の理解・協力
5	地域の理解・協力
6	女性（団体）ネットワークの形成（仲間づくり）
7	クオータ制（政治などにおける男女平等を実現するため、議員や候補者などの一定数を女性に割り当てる制度）などの実施
8	その他（具体的に _____ ）

男女共同参画社会の実現に向けた取組みについて

問 45 あなたは、次の法律や用語、施設などについて知っていますか。(それぞれ○は1つ)

	知っていた 言葉も意味も	知らなかった 言葉は知って いたが意味は 知らなかった	知らなかった 言葉も意味も
(例) ▲▲▲	1	2	3
ア 男女共同参画社会	1	2	3
イ 男女雇用機会均等法	1	2	3
ウ 育児・介護休業法	1	2	3
エ 女性活躍推進法	1	2	3
オ 政治分野における男女共同参画推進法	1	2	3
カ 山形県男女共同参画センター「チェリア」	1	2	3
キ ダイバーシティ	1	2	3
ク ジェンダー	1	2	3
ケ アンコンシャス・バイアス	1	2	3
コ ドメスティックバイオレンス (DV)	1	2	3
サ デートDV	1	2	3
シ やまがたスマイル企業認定制度	1	2	3

※用語の解説は、33 ページに記載しています。

問 46 「山形県男女共同参画センター「チェリア」」を利用したことがありますか。(○は1つ)

1	利用したことがある
2	利用したことはない

問 47 「山形県男女共同参画センター“チェリア”」について、あなたは、この施設にどのような役割を期待していますか。(あてはまるものすべてに○)

1	人材の育成(職場や地域で活躍する女性リーダーなど)
2	男女共同参画に関する学習会の開催(セミナー、講演会、シンポジウムなど)
3	社会で働く上で役立つ講座の開催(起業、再就職、資格取得など)
4	女性を対象とした相談(電話、面接)
5	男性を対象とした相談(電話、面接)
6	広報誌や情報誌による男女共同参画の推進に関する情報提供
7	インターネット(HPなど)による男女共同参画の推進に関する情報提供
8	男女共同参画に関する図書や資料の提供
9	「チェリア」で開催するセミナー受講者や相談者などが交流できる場や機会の提供
10	様々な団体やNPOが交流できる場や機会の提供
11	男女共同参画に関する調査・研究
12	ホールや会議室の提供
13	その他(具体的に)

問 48 男女共同参画社会を実現するうえで重要なことはどのようなことだと思いますか。(○は5つまで)

1	職場において、仕事と家庭が両立できるような環境づくりを進めること
2	職場における女性の活躍について、経営者・企業のトップの意識改革を進めること
3	家庭において、男性が家事・育児などにもっと積極的に参画すること
4	配偶者や恋人、パートナーなどにおける暴力をなくすこと
5	性別にかかわらず男女共同参画に関する知識をもつこと
6	女性がもっと社会に参画する意欲と責任感をもつこと
7	女性が職場の管理職、町内会長、PTA会長、審議会委員などにもっと進出すること
8	教育分野における男女共同参画の理解促進
9	これまで女性の参画が少なかった分野への女性の進出(防災・理工系・農業分野など)
10	女性のライフステージに応じた健康支援の充実
11	その他(具体的に)
12	わからない

★ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画、女性活躍などに関して、具体的な要望や意見がありましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところご協力をいただき、ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒で御返送ください。

このページは切り離すことができます。
返送の必要はありませんので、用語集としてご使用ください。

■問 45 の主な用語の説明

ア. 男女共同参画社会

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会のこと。

イ. 男女雇用機会均等法（正式名称：雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）

1986年に施行され、1997年6月に、女性に対する募集、採用、配置などの差別禁止規定や、セクシュアルハラスメントの防止などの雇用管理上の規定を新設するなどの改正が行われた。

ウ. 育児・介護休業法

育児又は介護を行う労働者の職業生活、家庭生活の調和が図られるよう支援するため1991年に制定された法律のこと。

エ. 女性活躍推進法（正式名称：女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）

女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進し、もって男女の人権が尊重され、かつ、急速な少子高齢化の進展、国民の需要の多様化その他の社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会を実現することを目的とする法律。（平成27年9月公布・施行）

オ. 政治分野における男女共同参画推進法（正式名称：政治分野における男女共同参画の推進に関する法律）

政治分野における男女共同参画を効果的かつ積極的に推進し、もって男女が共同して参画する民主政治の発展に寄与することを目的とする法律。（平成30年5月公布・施行）

カ. 山形県男女共同参画センター「チェリア」

男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野に共に参画する豊かな社会「男女共同参画社会」の実現を目指す、活動交流拠点。

キ. ダイバーシティ

「多様性」のこと。性別や国籍、年齢、障がいの有無などにかかわらず、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことを「ダイバーシティ社会」という。

ク. ジェンダー

生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）ではなく、社会通念や慣習の中にある、社会的・文化的に作り上げられた「男性像」、「女性像」のような性別のこと。

ケ. アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）

人が無意識に持つ思い込み。過去の経験によって、気づかずに身につけたもので、意図せず、行動や意思決定に影響を与える。

コ. ドメスティックバイオレンス

配偶者などの親密な関係にある者またはあった者の間で行われる身体的・精神的などの苦痛を与える暴力的行為のこと。

サ. デートDV

婚姻関係にない10代～20代の交際関係にある者またはあった者の間で行われる身体的・精神的などの苦痛を与える暴力的行為のこと。

シ. やまがたスマイル企業認定制度

企業におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組みを促進するため、働きやすい職場づくりに積極的に取り組む企業を県が3段階で認定する制度。

＜お問い合わせ＞

山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課

担当：多様性・女性活躍担当

電話：023-630-3269（直通）

FAX：023-632-8238



2. 企業実態調査

男女共同参画等に関する企業実態調査

日ごろ、県政の推進について、ご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

山形県では、「山形県男女共同参画計画」を策定し、誰もがいきいきと働き、幸せに暮らし続けられる山形県の実現に向けて、性別にかかわらず、一人ひとりが個人として尊重されるよう、暮らし・仕事・地域において男女共同参画の取組みを進めております。

この調査は、企業における男女共同参画、女性活躍などに関する取組みの実態を伺い、今後の施策に反映させるため、県内の事業所 200 社を対象に実施するものです。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月

山形県知事 吉村 美栄子

◇調査票のご記入が完了しましたら、同封の返信用封筒でご返送ください。

回答期限 **8月31日（土）まで** にご投函ください。

◇インターネットからも、ご回答いただけます。

右の二次元コード（又は下記 URL）よりお進みください。

その際、左上に記載のIDとインターネット回答用パスワードをご入力ください。

<https://kksr.com/yamagata-kigyou>

※インターネットで回答する場合も、8月31日（土）までにご回答ください。

※インターネットで回答する場合、この調査票は返送の必要はございません。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



●調査結果の公表について

公表時期は令和7年3月を予定しております。

●調査に関するお問い合わせ

山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課

担当：多様性・女性活躍担当

電話：023-630-3269（直通）

FAX：023-632-8238



ご記入にあたってのお願い

1. ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、前頁の目的以外には使用しません。また、貴事業所が特定できる形で公表することはありません。
2. 県内に複数事業所がある場合でも、調査票をお送りした事業所分のみについてお答えください。
3. ご回答は、事業所を代表する方、又は人事・労務管理担当責任者様でお願いします。
4. 令和6年8月1日現在でご記入ください。
5. ご回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から選ぶものと、内容をご記入いただくものがあります。次の要領でお願いします。
 - 選択肢の中から選ぶものは、(○は1つ)、(○はいくつでも)などと指定していますので、それに合わせてお答えください。
 - 答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選んだ上で、その内容を具体的に記入してください。

〔1〕 貴事業所の概要について伺います。

ご回答いただいた内容について、後日、問い合わせさせていただく場合があります。
以下に、担当者名、連絡先などをご記入ください。

事業所名		
所在地		
回答者の所属・役職・氏名	所属	
	役職	氏名
電話番号		

問1 事業所の主な業種についてお答えください。(〇は1つ)

1	建設業	2	製造業	3	電気・ガス・熱供給・水道業
4	情報通信業	5	運輸業、郵便業	6	卸売業、小売業
7	金融業、保険業	8	不動産業、物品賃貸業	9	学術研究、専門・技術サービス業
10	宿泊業、飲食サービス業	11	生活関連サービス業、娯楽業	12	教育、学習支援業
13	医療、福祉	14	複合サービス業	15	サービス業
16	その他()				

問2 事業所の従業員数についてお答えください。(該当なしの場合は0と記入してください。)

	従業員数		
	男性	女性	計
1 正規従業員	人	人	人
2 非正規従業員*	人	人	人

*…非正規従業員には、パート、アルバイト、嘱託、派遣社員などが含まれます。以下同様。

〔2〕 女性の管理職の登用について伺います。

問3 係長相当職以上の管理職などの人数を、役職区分別にお答えください。

役職区分	管理職などの人数		
	男性	女性	計
役員	人	人	人
部長相当職	人	人	人
課長相当職	人	人	人
係長相当職	人	人	人

問4 女性の管理職登用についてどう考えていますか。次の項目について、それぞれ5段階で評価し、あてはまるものに○をつけてください。

	とても そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い
ア 意欲や能力のある女性従業員は、どんどん管理職に登用したい	1	2	3	4	5
イ 男女にかかわらず、平等に登用したい	1	2	3	4	5
ウ 女性に適すると思われる職種や業務については、管理職に登用したい	1	2	3	4	5
エ 女性は家事や子育て、介護などの負担も大きく、管理職に就くのは難しい	1	2	3	4	5
オ どちらかというと管理職は男性がふさわしく、女性を管理職に登用する予定はない	1	2	3	4	5
カ 配置や研修など、女性管理職を養成する仕組みになっていない	1	2	3	4	5
キ その他(具体的に)					

問5 女性の管理職登用を推進する上で課題があるとすれば、どのような課題ですか。(○は3つまで)

1	必要な知識や経験、判断力などを有する適任者がいない(少ない)
2	将来管理職に就く可能性のある女性はあるが、現在、管理職に就くための在職年数などを満たしている者がいない
3	女性従業員は勤続年数が短く、管理職になるまでに退職してしまう
4	女性従業員は、仕事よりも家庭責任を優先する傾向がある
5	家庭生活(プライベート)との両立が困難なハードワークをキャリアとして求めている
6	女性従業員が満たしにくい昇進要件がある(転勤要件など)
7	管理職になることに意欲的な女性従業員が少ない
8	女性管理職のロールモデルがないため、管理職として働くという将来像を描きにくい
9	女性管理職に抵抗のある男性従業員が多い
10	その他(具体的に)

問6 これまでに、女性にリーダーや管理職への登用を打診したが断られたことはありますか。
(○は1つ)

1	ある
2	ない

問6—1 問6で1を選んだ事業所に伺います。その理由は何ですか。(○は3つまで)

1	責任が増えるため
2	残業が増えるため
3	自分の都合に合わせて休みが取りづらくなるため
4	家庭生活(プライベート)との両立が難しくなるため
5	能力や経験が不足していると感じるため
6	管理職に興味ややりがいを感じないため
7	周囲に女性の管理職がないため
8	残業代がつかない・報酬が業務量や責任の重さに見合わないため
9	転勤があるため
10	職場の同僚から妬まれたり、批判を受けるのが嫌であるため
11	今の職務内容に満足しているため
12	その他(具体的に)

〔3〕女性の活躍推進について伺います。

問7 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(いわゆる女性活躍推進法)」について知っていますか。(○は1つ)

1	よく知っている
2	ある程度知っている
3	言葉は聞いたことはあるが内容はあまり知らない
4	聞いたことがない

問8 男女がともに活躍できる職場とするための積極的な改善策として、どのような取組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	男女共同参画(女性活躍推進、男性従業員の育休取得促進などを含む)に関する研修に参加させている
2	女性従業員を対象とした職場内研修の実施や外部研修への派遣などを行っている
3	女性の募集・採用の拡大をしている
4	女性が少なかった職場や職域に女性を配置している
5	女性の管理職を積極的に登用している
6	プロジェクトチームや改善策検討委員会などを設置している
7	継続して就業できるように、配置・転勤などを考慮している
8	生活と仕事の両立ができるよう労働時間や休暇に配慮している
9	生活と仕事の両立ができるよう多様で柔軟な働き方を整備している(短時間勤務、フレックスタイム、テレワークなど)
10	その他(具体的に)
11	行っている取組みは特にない

問9 問8で1～10を選んだ事業所に伺います。改善に取り組まれた結果、どのような効果が得られましたか。それぞれ5段階で評価し、あてはまるものに○をつけてください。

	とても そう 思う	やや そう 思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	まったく 思わない
ア 職場の雰囲気が良くなり活気が出た	1	2	3	4	5
イ 女性の就業年数が伸びた	1	2	3	4	5
ウ 女性のチャレンジ意欲が向上した	1	2	3	4	5
エ 女性の責任感が向上した	1	2	3	4	5
オ 女性の活躍が自社の利益に貢献した	1	2	3	4	5
カ 男性にとっても働きやすい職場になった	1	2	3	4	5
キ 生活と仕事を両立している社員が増加した	1	2	3	4	5
ク 外部の評価や企業イメージが向上した	1	2	3	4	5
ケ 優秀な女性人材を確保できた	1	2	3	4	5
コ 就職希望者が増加した	1	2	3	4	5
サ その他(具体的に)					

〔4〕 育児・介護との両立支援の取組みについて伺います。

問 10 過去1年間に出産した従業員（又は従業員の配偶者）の人数を記入してください。

出産した女性従業員	人	配偶者が出産した男性従業員	人
うち育児休業を取得した女性従業員	人	うち育児休業を取得した男性従業員	人

問 11 過去1年間に育児休業を取得した従業員の人数を、取得期間ごとに記入してください。

	1か月未満	1か月以上 6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 1年6か月未満	1年6か月以上
1 女性従業員	人	人	人	人	人
2 男性従業員	人	人	人	人	人

問 12 過去1年間に結婚・出産・育児・介護を理由に退職した従業員はいますか。事由・性別ごとに、いる場合は人数を、いない場合は「2 いない」に○を記入してください。

	結 婚		出 産		育 児		介 護	
	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性
1 いる	人	人	人	人	人	人	人	人
うち非正規	人	人	人	人	人	人	人	人
2 いない								

問 13 育児休業・介護休業を進めていく上での課題は何ですか。（○は3つまで）

1	休業期間中の代替要員の確保
2	休業者の復職時の受け入れ体制の整備
3	休業者への教育訓練の実施など、復職のための支援
4	休業者の昇格、昇進などの取扱い
5	休業者の業務を代わりに行う他の従業員への負担増
6	制度利用者への周囲の理解（上司、同僚など）
7	顧客や取引先からの理解
8	その他（具体的に _____ ）
9	特になし

問 14 育児休業や介護休業など、育児・介護休業法などの法律上、事業主の義務とされている制度の他に、家庭と仕事の両立を支援するために取り入れている取組みはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	家族看護休暇制度(法定の「子の看護休暇」以外の制度)
2	始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ(時差出勤)
3	フレックスタイム制度
4	テレワーク(在宅勤務、サテライトオフィスなど)
5	転勤や配置転換時の配慮
6	勤務間インターバル制度(終業時刻から次の始業時刻の間に一定時間の休息を確保する制度)
7	再雇用制度(育児・介護などにより退職した従業員の再雇用)
8	事業所内託児所・企業主導型保育所
9	経済的補助(子ども手当、保育料の補助など具体的に:)
10	従業員からの相談窓口
11	取り入れている取組みは特にない
12	その他(具体的に)

問 15 女性の活躍推進や生活と仕事の両立支援の取組みを進めていく上で、県にどのような取組みを期待していますか。(○は5つまで)

1	経営者や管理職の意識改革をテーマにしたセミナーの開催
2	女性の意識改革をテーマにしたセミナーの開催
3	女性管理職候補を対象とした研修
4	女性を対象としたネットワークの形成(異業種交流の場の設定など)
5	女性登用の必要性・メリットなどに関する普及啓発
6	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定の支援
7	女性の管理職登用に関する目標設定
8	女性登用やワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる事業所の認定制度
9	女性登用やワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所の紹介
10	女性登用やワーク・ライフ・バランスの取組みに対する奨励金の交付
11	女性の就労や企業とのマッチングの支援
12	その他(具体的に)

〔5〕ダイバーシティの推進について伺います。

近年、性別や国籍、年齢、障がいの有無、性的指向・性自認など多様な価値観を受け入れ、誰もが活躍する「ダイバーシティ」の推進が企業をはじめ社会で注目されています。

問 16 ダイバーシティの推進に取り組んでいますか。(○は1つ)

1	はい
2	いいえ

問 17 問 16 で 1 を選んだ事業所に伺います。ダイバーシティの推進として、どのような取組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	経営方針や経営理念にダイバーシティの推進を掲げている
2	女性の活躍推進
3	多様な経験を持った人材の受け入れ(中途採用、キャリア採用など)
4	障がいのある人材の活躍推進
5	シニア人材の活躍推進
6	多国籍人材の活躍推進
7	LGBTQなど性的マイノリティへの支援
8	仕事と治療の両立支援
9	仕事と育児・介護の両立支援
10	その他(具体的に)
11	特に取り組んでいない

問 18 問 16 で 1 を選んだ事業所に伺います。ダイバーシティを推進する目的(期待する効果)は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	人材や労働力の確保
2	離職防止
3	企業イメージの向上・PR効果
4	イノベーションの創出(新たな商品やサービスの開発)
5	生産性の向上
6	業績の向上
7	社会的責任や法令遵守のため
8	その他(具体的に)

〔6〕 性的マイノリティへの配慮について伺います。

問 19 LGBTQなど性的マイノリティへの配慮として、どのような取組みをされていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1	性的指向・性自認の尊重や、性的指向・性自認に基づくハラスメントの禁止などについて社内規定や行動指針などに記載
2	性の多様性に関する社内研修や勉強会の開催
3	職場環境の整備(性別を問わないトイレの設置や制服の廃止など)
4	福利厚生制度や休暇制度において、性的マイノリティのカップルを法律婚の夫婦と同様に取り扱うなどの整備
5	採用活動における配慮(応募書類における性別記載欄の削除など)
6	性的指向・性自認に関する相談窓口の設置
7	性的マイノリティに配慮した商品・サービスの開発・提供(法律婚の夫婦や家族を対象としたサービスについて、性的マイノリティのカップルを家族や法律婚の夫婦と同様に取扱うことを含む)
8	その他(具体的に)
9	特に取り組んでいない

問 20 問 19 で 1～8 を選んだ事業所に伺います。性的マイノリティへの配慮を行う目的(期待する効果)は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1	人材や労働力の確保
2	離職防止
3	企業イメージの向上・PR効果
4	イノベーションの創出(新たな商品やサービスの開発)
5	生産性の向上
6	業績の向上
7	社会的責任や法令遵守のため
8	その他(具体的に)

問 21 性的マイノリティへの配慮を行う上で課題となっていることは何ですか。(〇は3つまで)

1	経営層の理解や協力が得られない
2	社員の理解が得られない、理解が不十分
3	顧客や取引先の理解が得られない、理解が不十分
4	性的マイノリティ当事者のニーズや意見を把握することが難しい
5	施策の効果の把握が難しい
6	どのような取組みをすればよいのかわからない
7	取組みを行うための知見を持った人材がいない
8	取組みを行うための予算が確保できない
9	その他(具体的に)
10	特に課題となっていることはない
11	わからない

問 22 性的マイノリティへの配慮を行う上で、国や自治体にどのようなことを期待していますか。(〇は3つまで)

1	職場における取組に関する情報提供(事例の紹介など)
2	職場におけるルールの特化(対応指針やガイドラインの提示など)
3	積極的な取組を行う企業に対する表彰や認定
4	性的マイノリティに対する社会全体の理解促進に向けた啓発活動
5	性的マイノリティに関する企業からの相談への対応
6	性的マイノリティに関する労働者からの相談への対応
7	職場環境整備のための助成制度
8	その他(具体的に)

☆その他男女共同参画、女性活躍などについて、具体的な要望や意見がありましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところご協力をいただき、ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒で御返送ください。